

埼玉

SAITAMA

saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局

〒330-9550
さいたま市浦和区仲町3の12の6
J S-1ビル1階
048・829・2961 FAX048・829・2964

埼玉東支局
〒344-0067
春日部市中央6の3の9
048・735・9811 FAX048・739・1219

熊谷支局
〒360-0041
熊谷市宮町2の122
第一宮町ビル5階
048・521・0012 FAX048・520・2208

埼玉西支局 049・222・0518
越谷通信部 048・962・2038
川口通信部 048・251・8570
所沢通信部 04・2928・3471
秩父通信部 0494・22・0212

広告は

埼玉毎日広告社 048・864・2521

購読は

0120・468・012

川口ぞうれっしゃ合唱団 平和への願い「再出発」



7月の公演に向けて練習する参加者たち―荒木紀理子さん提供

7月公演参加呼びかけ

平和への願いを込めて「ぞうれっしゃがやってきました」を歌う「川口ぞうれっしゃ合唱団」(荒木紀理子代表)が、コロナ禍による3

年間の「停車」期間を経てようやく動き出した。7月に開催する公演に向け、3月から練習を開始。荒木さんは「多くの人に参加して

ほしい」と呼びかけている。合唱団は、2年に1度の公演のたびに参加者を募集するスタイルで継続してきた。だが、

練習は毎月第2、第4日曜日を基本に、JR蕨駅西口近くの川口

結成30周年となる2020年の公演は新型コロナウイルスのまん延で中止に。解散という選択肢もある中、継続を決めたのは参加者の熱意だったという。「その時に登録していた団員のほとんどが再開まで待ちたいと言ってくれた。その思いをつないでこまで来た」と荒木さんは話す。太平洋戦争中、日本各地の動物園で動物たちが殺処分されたが、戦後、名古屋市の東山動物園に唯一残されていた象に会いたいという子どもたちのため、各地と名古屋を結ぶ特別列車を走らせた。合唱団の「ぞうれっしゃがやってきました」は、この実話を元に構成されている。

市教育研究所芝園分室(旧芝園小学校)の体育館で行われ、本番の公演は7月23日、さいたま市浦和区高砂の埼玉会館ホールで開催される。荒木さんは「内外ともに大変な事態となっている今、平和を願い、改めて心をつないで歌いたい」と話している。

参加費などの問い合わせは荒木さん(048・2608・0256)へ。夜間のみ、ファクス兼用。ホームページは(<http://kawagu-chizou.sakura.n.e.jp>)。【鈴木篤志】